広報 とよひら

広報紙 第39号
豊平地区町内会連合会
発行者：中川 昭一
札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12
TEL：011-811-9435

豊平の福祉に愛の手が伸びる
豊平地区マークと福祉標語

身近に迫る特殊詐欺

金融庁や警察官を語る「劇場型犯罪」の増加

三億九千万円、これは昨年道警において認知された道内の特殊詐欺被害金額です。

道警では今年も「特殊詐欺警報」を発令し警戒を呼び掛けていますが、石狩管内を中心に特殊詐欺の被害や予兆電話が相次いでおり、二月に入っても、六十六件の予兆電話がありました。

札幌市内でも三日間の間に西区の八十代女性が三百万円、中央区の八十代女性が六十五万円、厚別区の七十代男性が二百万円、それぞれ盗まれたカードの口座から現金を引き出される被害に遭っています。

特殊詐欺の手口は様々で

- 架空請求詐欺
- オレオレ詐欺
- 融資保証金詐欺
- 還付金詐欺
- ギャンブル必勝法詐欺
- 特殊詐欺類似窃盗（キャッシュカード詐欺窃盗）

特に最近では警察官や金融機関職員を装って被害者宅に電話で「○○さんのキャッシュカードが不正利用されている」等の名目により、キャッシュカードを準備させた上で、隙を見て、同カードをぬすむ手口、また、「窃盗グループを逮捕したら○○さんのキャッシュカードを所持していたのでカード確認に伺います。」「○○さんの口座からお金が引き出されているので暗証番号を教えて下さい。」等といった警察官や金融機関職員を装った特殊詐欺電話が著しく増加、地域や社会に不安を与えています。不審な電話があった場合は安易に信用せず、身に覚えのない話をされた場合には一度電話を切り、家族や警察に相談するようにして下さい。

道警では本年一月一日から特殊詐欺の手口分類が見直され十種類型に分類されました。見直しの背景には「キャッシュカード詐欺盗」が増加したこと等の特殊詐欺の背景があり、手口の変化に対応するため見直しが行われたとのことです。

我々町連防犯部においても、日常の地域防犯活動や、年末年始に地域スーパーでの啓発を実施し、豊平警察署と合同で特殊詐欺抑止ティッシュ、パンフレット等を配布し地域の方々に注意喚起を行っています。

年々、詐欺の手口が巧妙になって来ており、ある時は道・市職員を名乗り、また、金融機関職員や警察官を名乗り、様々な人物を装った劇場型犯行を展開しています。

これは地域全体としての課題であり、町連が地域一体となって、卑劣な特殊詐欺撲滅を目指して行かなくてはなりません。

簡単な被害予防法としては、電話機を留守電にしたり、「この電話は自動録音されます。」等の音声を流す方法が有効です。

とにかく「お金」の話がでたら無視して電話を切りましょう。そして警察に通報したり、家族に相談しましょう。



北海道警察からのお願い
電子マネーを購入される方へ

有料サイトの料金請求で電子マネーを購入させて現金をだまし取る手口の特殊詐欺が増えています。



「電子マネーを購入し、カードに書いてある番号を教えろ」と言われたら

詐欺！



心当たりのある方は、直ちに警察へご連絡願います。

道内でオレオレ詐欺の被害や予兆電話が連続発生しています！

【金融機関職員を装う手口】
金融機関の職員を名乗る者から
「あなたのキャッシュカードで不正にお金が引き出されている」
などという電話が入り、金融機関職員を装った者が、自宅にキャッシュカードを取りに来ます。

カードや通帳を渡してはいけません！
暗証番号を教えてはいけません！

【息子や孫を装う手口】
息子や孫を名乗る者から
「のどにポリープができた」
「病院でカバンをなくした」
「会社で必要な金をいくら用意できないか」
「上司の息子が金を取りに行く」
などという電話が入り、息子の上司と名乗る男が、現金を取りに来ます。（キャッシュカードを取りに来る場合もあります）

知らない人に現金を渡してはいけません！

北海道警察

地区新年交礼会開催

町内会の交流を図り地域の連帯意識の向上を目指して

本年一月九日、プレミアホテルTSUBAKI札幌において、町内会連合会の新年交礼会を開催しました。

出席者は、豊平区長はじめ国会議員・道議会議員、市議会議員、地域の団体代表者等の来賓を含めて二百名余りでしたが、お互いに挨拶を交わして歓談、交流を深めることができました。

中川昭一町連会長から主催者挨拶があり、続いて来賓を代表して西田健一豊平区長からご挨拶をいただきました。

余興では、各町内会のカラオケ名人や防犯部員による大合唱等の熱演に大喝采でした。「ワンチーム」としての町内会連合会員の交流を通じて新たな芽吹きへの期待が感じられた有意義でかつ、楽しい交礼会でありました。

今年は、令和初の交礼会であり、思い出深いものとなりましたが、庚子（ねずみ）年は、「新たな生命がきざし始める状態なので、全く新しいことにチャレンジするのに適した年」と言われております。各町内会活動の活性化にますますご尽力されるよう願っております。



スキーを楽しむ会

令和二年二月十一日午前九時、各出発場所より三台のバスに乗車し中央区のばんけいスキー場に向かいました。

バスの中から見ると、外は真っ白な雪、つい先日までは雪が少なく、土が見えている状況でした。当日は全コースが滑降可能とのことで、安心いたしました。

スキー場につくと、空は澄み渡り、ゲレンデも真っ白で、大勢のスキーヤーが滑降していきました。子供たちは早く滑りたい気持ちをおさえながら、役員の注意事項を聞き、記念撮影をし、それぞれがゲレンデへと向かいました。

豊平地区町内会連合会体育部は、冬の体力向上と、家族・友達とのコミュニケーションの目的、また会費を安くおさえて多くの人が参加できるように企画してきました。なお、リフト券を買うことなく豊平地区表示のゼッケンをつけるとリフト乗車はフリーパスで通ることもスキー場側と話し合い、現在に至っております。

昼食は、ぱんけい苑で、ごはん一杯とジンギスカンの食べ放題で食事をとり、食後、午後二時三十分までスキーを自由に滑り、楽しんでいました。今年は新型コロナウイルスとインフルエンザの猛威の中、各地区の役員様には大変な気苦労をおかけいたし、その中で無事終了、ありがとうございました。



我が町内 ―旭水町内会―

旭水町内会は昭和38年5月に結成され、令和2年には創立57周年を迎えます。水車町・旭町のほぼ全域を包含する旭水町内会は多くのイベントで世代間交流・会員の教養向上・国際交流・会員同士の絆を深める活動を行っています。今後もよりよい町内会づくりに尽力していきたいと思っていますので、ご協力よろしくおねがいします。
旭水町内会（会長・高橋恒夫）が行っているイベントを紹介します。

● 納涼盆踊り大会　毎年8月に開催 ●

旭水公園で行われる納涼盆踊り大会は2日間にわたる町内会手作りの大型行事であり、前半は子ども盆踊りとして「旭おどり」と「子供盆踊り」が行われ、毎年100人以上の子どもたちが参加してくれています。後半は「北海盆唄」よる大人盆踊りが行われています。2日目は仮装大会が開かれ、多くの賞品が用意されています。2日間で総勢300人以上の人が参加しています。また、露店も開かれ、ビールのほか焼きそば・焼き鳥・フランクフルト・かき氷などが販売され、そちらも人気となっています。




● 豊平川神社秋季例大祭　毎年9月に開催 ●

豊平川神社は旭水会館内に鎮座している神社で、毎年元旦に元旦祭、4月に春季例大祭、そして9月に秋季例大祭を行っています。秋季例大祭は2日間で、初日は大祭行事として旭水会館内で露店やビンゴイベントなどを行っており、2日目は修祓式のあと子ども神輿・幼児神輿が町内を巡行し、町内の皆様に元気な姿をみせてくれます。最近はレア朱印が受けられるとして豊平川神社の認知度も向上し、朱印を求めて来る参拝者も増えてきています。




● 地域活動の場整備支援事業・歴史講演会 ●

地域活動の場整備支援事業の一環として行われる歴史講演会は、毎年3月ころに歴史研究家を講師に招いて、町内会会員の皆様の教養の向上につとめています。旭水の歴史・神社の歴史など地元に即した歴史の講演のほか、江戸時代の刑事裁判や歴史○×クイズなど幅広い範囲の歴史が講演されています。一方的でなく、聞き手と双方向で考え合うという講演方式が人気となっています。

ここの紹介したイベント以外にも、パークゴルフ大会や紅白歌合戦など多くのイベントを行っていますので、皆様のご参加お待ちしています！

● 旭水ふれあいパーティー（旭水居酒屋） ●

奇数月の隔月で行われる旭水居酒屋は、町内会員の皆様の互いの絆を深めるために開かれています。家族みんなで旭水会館に集まって、町内の人たちと交流しましょうというのがコンセプトです。会館1階では大人たちによる談話の場、2階ホールはキッズスペースとして多くの子どもたちが、ボランティアの北海学園大学の学生たちとともに楽しく遊んでいます。食べ物・飲み物は会員持ちよりのほか、ビール・ジュース・軽食なども販売されています。




● 料理交流会 ●

異文化交流の一環として行われる料理交流会は、外国人の料理講師を招いて世界の料理を学ぼうというイベントです。現在は北東アジア研究交流センターが協力してくれているので中国料理が中心になっていますが、今後はその他の地域の料理も学んで、町内の皆様に楽しんでいただければと考えています。





アイスキャンドル点灯式



一月二十七日午後四時三十分、まちセン玄関前でバケツと牛乳パックで作った灯ろうに明かりがつきました。小樽に負けないくらい幻想的でした。

お知らせ

【豊平地区町内会連合会から】
祝　次の方々が表彰を受けられました。

○札幌市自治振興功労者表彰
藤田 良則さん
○厚生労働大臣表彰（民生委員・児童委員協議会　役員功労）
濱田 繁光さん
○クリーンさっぽろ衛生モデル地区表彰
豊平第13分区町内会
○交通安全功労者知事感謝状
池田 榮さん（10年）
荒谷 惠美子さん（10年）
三ツ屋 邦孝さん（10年）
○札幌市交通安全運動推進委員会会長（市長）表彰
荒谷 惠美子さん（16年）
酒井 秀男さん（5年）
井坂 公一さん（5年）
○札幌市消防局長表彰
豊平地区町内会連合会

◎今後の主な豊平地区の行事
～令和2年9月まで～
○交通安全母の会新入学児童マスコット配布
4月6日（月）
○春の交通安全運動街頭啓発
4月7日（火）
○とよひら福祉のまち推進センターお元気グッズ配布
4月・9月・12月
○豊平地区町内会連合会総会
5月14日（木）
○とよひら花LAND植花
5～6月
○春の親子レクリエーション
6月予定
○夏の交通安全運動街頭啓発
7月13日（月）
○豊平神社例大祭
7月14日（火）・15日（水）
○子ども盆踊り大会（予定）
8月上旬
○志村鐵一慰霊祭
8月16日（日）
○とよひらふれあいまつり
8月23日（日）
○豊平地区防災訓練
9月～10月
○とよひらおもしろひろば（予定）
9月上旬
○秋の交通安全運動街頭啓発
9月18日（金）
○交通安全祈願祭（予定）
9月下旬
○健康フェア
9月27日（日）

令和2年3月から、札幌市市民自治推進会議委員に旭水地区の柴田崇行さんが選任されました。

【防災コラム】
豊平区のコミュニティFMはFMアップル76・5MHz。市内で災害が発生した場合、優先的に非常放送を行います。

編集委員長　渡辺 英雄
編集委員
佐藤 郁子・石川 紀男
奥瀬 健治・吉川 鴻治
下濱 明幸・有馬 尚経
工藤 修一・田所 勝美
大窪 祐子・中村 和司
藤田 良則

豊平地区クリーンさっぽろ環境衛生部からのお便り

最初に冷蔵庫のお片付けチェック

①使い忘れ防止…　仲間をまとめる。バター&ジャムの朝食セットなど同じ用途のものや、消費期限・賞味期限の近いものをひとまとめに。

②食べ忘れ防止…　透明容器に保存。中身と残量が一目でわかる透明の保存容器を活用しましょう。

③二重買い防止…　指定席を作る。調味料はドアポケット、肉類はチルド室の右など定位置を決めておけば食品の迷子を防げます。
野菜の使い忘れ防止には?迷子になりやすい使いかけの野菜はトレイを置いてひとまとめに見やすい場所に設置するのがポイント。



以上が冷蔵庫のお片付けテクでした。

交通事故の発生状況

令和二年も一ヶ月が過ぎました。新聞を見ますと昨年とほぼ同数の交通事故死亡者となっております。

昨年の道内の交通死亡事故につきましては　前年より一人多い一五二人となりました。(一昨年は一四一人と統計のある中で過去最少でした。)しかしながら、交通事故の発生件数、傷害者数はともに、三年連続で減少しているとのことです。また、飲酒運転による交通事故死者数につきましても大きく減少するなど着実に成果が出ているようです。

昨年の豊平警察署の交通事故死亡者は五名で、清田区一名(二歳児の死亡)西岡二名(バイク事故二件)月寒一名(歩行者)羊ケ丘通り一名(死亡者は北海学園大学生)でした。西岡通りでは二年続けて二名の死亡事故が発生しております。我が豊平地区では死亡事故ゼロの日を　平成二八年六月三〇日以来継続中です。

昨年二月より道路交通法改正により運転中の携帯電話使用の罰則が強化されております。今年の交通安全運動の計画も　子供と高齢者の安全確保、飲酒運転の根絶、自転車の安全利用、シートベルトの全席着用等が実施されます。

一年を通じての清掃活動・研修会を行っています。その中で、秋の表彰式・研修会がカナモトホールで行われました。令和元年度のクリーンさっぽろ実践模範地区として豊平第十三分区町内会(青山豊会長)が表彰されました。住民と役員が一つになって町内清掃に努めた結果だと思います。札幌市では舗道上のゴミステーションをマンション・住宅の敷地内に置くように指導しています。三十六号線舗道上に設置してあったダストボックス三台を五台に増やして、マンション・住宅の敷地内に置かせてもらいました。ダストボックスが無くなったことで、景観が良くなりました。これからも住民の協力のもと改善していきたいと思います。

追伸：いつもゴミステーションを片付けていたら、カラスが寄ってきて「ここオレの縄張りだ」と言わんばかりにじっと見つめています。ダストボックスを撤去する時にカラスも立ち合い、じっと見ていました。カラスに今日でゴミステーションは無くなるから他所へ行きなさいと言うと首をかしげてじっと見ていましたが、やがて一声鳴いて飛んでいきました。あれから姿を見ていません。

皆様におかれましても運転には充分注意してお過ごし頂きたいと思います。





災害時のトイレ対策

国の防災基本計画に携帯トイレ・簡易トイレが、生活必需品として位置づけられました

緊急提言

「大都市札幌市を二十五年前の阪神・淡路大震災並みの直下型大地震が襲った時、阪神・淡路大震災のときと類似したトイレ騒動が再び襲うでしょう。汲み取り式トイレ」や和式トイレに座れない若者や糞尿の臭気を嫌う若者たちが増加した。プライバシーに過敏に反応する現代社会において、集団雑居生活になじまない現代人は水洗トイレが使えなくなったときどのように反応するだろう。行政も市民も今こそ災害時のトイレ対策を考え繰り返し復習し実践しておくようにおくべきでなかろうか」＝山下　亨編著「トイレが大変」から引用

平成七年一月十七日午前五時四十六分頃に発生した阪神・淡路大震災では、間接死を含む死者が六、四三三人、全壊一〇万四、九〇六棟、半壊一四万四、二七四棟という大きな被害が出たほか、電気、ガス、水道、電話といったライフラインは激震(M七・三)によって大きな被害を受けました。

電気・電話は一月中に復旧しましたが、水道が二月末、下水道とガスは復旧に三カ月を要した。下水道の処理場が損傷して下水道処理機能がダウン。し尿の終末処理が出来なくなった。神戸市内始め兵庫県内で一斉に五万戸が断水しトイレの使用が不能となった。全体の完全復旧には四月中旬までかかった。(平成七・六・六付け朝日新聞夕刊)神戸市内の学校、体育館、公園などにはピーク時、五九九カ所二二万三千人を超える市民が避難した。(うち学校等に約一三万六千人が避難した。)

避難者が一極集中する現象こそがトイレ大混乱の原因の大きな問題だった。「同情するならトイレを流す水をくれ」「どこも便器は糞尿で山盛り、大便の後、尻を拭い紙を乗せ、棒で奥へ押し込む。その後、バケツ半分の水を流せば何とか流れる。先が詰まったら終わり・・・」グランドや築山や樹木の陰は糞尿の山。汚れたトイレに行きたくないので、水も食事も摂らないので血圧が上がり体調不良となり関連死につながる大問題が現実でした。

大地震で下水管が破損した場合、マンションの上階でバケツ等の水で便を流すと大変です。下の階にあふれだすことになります。破損がないか敷地内の用水マンホール等の確認が必要です。

携帯トイレ・簡易トイレ等を人数×回数×三日～七日分を備蓄しておきましょう。

日本トイレ研究所「災害用トイレガイド」参照
http://toilet.or.jp/toilet-guide/
商品一覧はこちらのサイトで確認しよう!
日本トイレ研究所
避難所トイレチェックリストはこちら
https://toilet-guide.blogspot.com

第1回 世代間交流餅つき大会

「苦(9)」持ちといい、暮れの数日間のうち十二月二十九日だけは餅つきを避ける風習がありますそのような日に第五分区と第七分区が共同で第1回餅つき大会が開催されました。開催まで限られた時間の中、本堂を貸していただいた覚英寺さん、町連の方々の助けによりなんとか手筈はととのったものの、当日まで心は落ち着きませんでした。ご近所さんと顔見知りになる機会という事で企画したなる機会という事で企画したが、蓋を開けてみると近隣今回、蓋を開けてみると近隣の方々をはじめ、豊神会の先輩たち、ゲストハウスWAYでおります。



この機器はカラオケとして単に歌うのでなく「音楽を聴く」「体操をする」「映像を観る」などのプログラムを搭載して介護予防や健康維持機能にも対応出来るものになっております。今後、地域のコミュニティの活性化と健康維持に大いにつながるものと考えられます。

このカラオケを使用になる場合は一回2千円となり、事前に「豊平会館」宛に申込む様にして下さい。



新カラオケ機器導入

七号にて「カラオケとダンスのタベ」について詳しくご案内したところですが、このたび一月十七日に「第一興商」から機器をリース契約で導入しました。

これは今までのレーザーカラオケが度々故障していたため通信カラオケを導入したものです。

今回、会館運営委員会で導入した機器は生活総合機能改善対応の機器で「DKエルダーシステム」を備えたものとなった先の広報誌第三十

藤田良則副会長 札幌市自治振興功労者表彰を受賞



豊平地区町内会連合会の副会長と防犯部長を兼任しておられる藤田良則さんが、昨年の十一月二十一日に開かれた令和元年度のさっぽろ市民表彰式において、秋元克広札幌市長より札幌市自治振興功労者表彰を受けられました。藤田さんは町連役員のほか、豊平地区統計調査員協議会会長・第一分区町内会長など地区の主要な役職の代表を務められるなど、ここ豊平地区に対して大きな社会的貢献をされてきました。

自治振興功労者は札幌市で昭和五十二年に制定された自治体レベルでの最高の表彰であり、長年にわたって町内会活動や地域振興活動に著しい貢献のあった方に贈られるものであります。このたびの藤田さんの受賞はまさに地域振興による功績のたまものであるといえます。藤田さんの豊平地区町内会連合会での活躍は、知らない人はいないほど大きなものがあります。副会長として町連会長を支え、とよひらふれあいまつりや豊神社例祭の山車巡行、そして多くのイベントの中心人物として活躍されています。

藤田さんの札幌市自治振興功労者表彰受賞をみなさんと喜び合うため、令和二年一月二十六日にプレミアホテルTSUBAKI札幌において、豊平地区町内会連合会が主催する盛大な祝賀会が開かれました。祝賀会には西田健一豊平区長・徳光市民部長、高木宏寿前衆議院議員・吉田祐樹道議・近藤和雄市議などや、各単位町内会・町連の方々が祝賀に駆けつけてくれるなど、多くの方々が藤田さんの受賞を祝いました。さらには豊平地区町内会連合会の各部や各単位町内会からも記念品が贈られ、第十八分区町内会長の千葉玉枝さんによる祝舞や、藤田さんのご子息である音楽座ミュージカルの藤田将範さん夫妻のショーなどもあり、終始祝賀ムードという雰囲気でした。
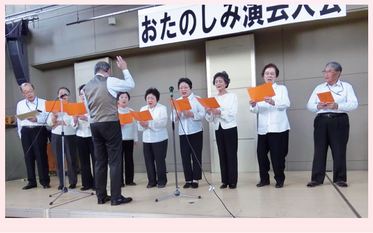


藤田さんは「みんなで豊平地区を盛り上げよう」と常日頃から説いており、ベテラン役員として精励し、若手役員には指導して豊平地区の地域振興を牽引してきました。これからも藤田さんの活躍を大いに期待したいと思っています。くれぐれも健康に留意され、地域の先輩として後進を導いてくださることを願います。

お楽しみ演芸大会を終えて

旭水クラブ　瀧口　潔

令和元年度より豊平地区老人クラブ連絡協議会の定例会の中で「お楽しみ演芸大会」の関わり方、運営のあり方について協議し、連絡協議会六クラブで当番制に決定、初年度は旭水クラブが実施することになり令和元年十月二十日に向け種々検討、協議を重ねて準備を進めてきました。プログラムの原案、お土産の買出し、人員配置手配など運営にあたり一連の計画のもとクラブ会員総力で準備完了。いよいよ令和元年十月二十日午後一時から演芸大会が豊平会館にて盛大に開催されました。プログラムは、ときわ睦会の片山八重子さんの詩吟「宝船」で始まり、日舞、舞踊、民謡、カラオケなど旭水クラブ伊藤勇さんの名進行役と放送設備関係でときわ豊友会の小田周二さん旭水クラブの屋根田正美さんの技術力でロスのない最高の盛り上がりで、プログラムの二十二番目旭水町内会、新家比佐子先生の若草会が踊りの先頭に豊平音頭を全員で踊り「第二十回お楽しみ演芸大会」のフィナーレにふさわしく和やかなうちに終了しました。





緊急 新型コロナウイルス感染症について

中華人民共和国湖南省武漢市を中心に発生している新型コロナウイルス感染症ですが、札幌市ではホームページにおいて注意事項などを掲載しています。市内では令和二年三月二日の段階で十七名の感染が報告されています。

豊平まちづくりセンターや豊平地区町内会連合会などでは、あったかコンサートなどイベントの中止をはじめ、感染被害を拡大しないように努力しております。しかし、感染経路が明らかではないために、みなさんの「予防」が大切になっています。まずは手洗い・うがい、咳やくしゃみなどでは口元を隠すなど、個人でできる予防対策を行いましょう。またマスクの着用や、アルコール消毒なども有効とされています。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は発熱・乾いた咳・全身倦怠感などです。一般医療機関では検査を行っておりませんので「新型コロナウイルスではない」という診断書は発行できませんので、ご注意ください。

厚生労働省・札幌市などでは相談窓口をもうけていますので、下記をご参照ください。

相談窓口(コールセンター)

新型コロナウイルスに係る厚生労働省電話相談窓口
0120-565-653
(受付時間　9時00分～21時00分)

札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口
011-632-4567
(受付時間　毎日9時00分～21時00分)

外国人旅行者向けコールセンター(日本政府観光局)
050-3816-2787
(受付時間　24時間、対応言語　英語、中国語、韓国語、日本語)